

令和2年度 メンタルサポーターの実施状況

青少年育成課 教育相談センター

1 別室利用状況（のべ人数）

	令和元年度	令和2年度*
合計利用者数	8,342人	9,462人
一校当たり月のべ人数平均	57.9人	65.7人

2 家庭訪問実施状況（のべ人数）

中学校 学年	令和元年度		令和2年度*	
	合計	一校当たり月平均	合計	一校当たり月平均
1年	209人	1.5人	56人	0.4人
2年	293人	2.0人	247人	1.7人
3年	289人	2.0人	313人	2.2人
合計	791人	5.5人	616人	4.3人

3 不登校生徒及び不登校傾向にある生徒の改善状況（のべ人数）

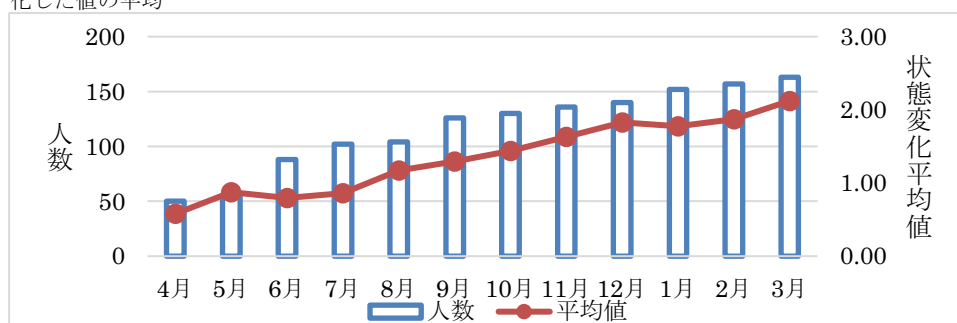
改善内容	令和2年度*	
	合計	月平均
不登校傾向にある生徒が、主に教室で過ごせるようになった。	297人	24.8人
” 主に別室で過ごせるようになった。	901人	75.1人
” 主に保健室や玄関先等に登校できるようになった。	64人	5.3人
” 主に放課後登校できるようになった。	35人	2.9人
” 主に関係機関等で過ごせるようになった。	198人	16.5人
合計	1,495人	124.6人

4 メンタルサポーターの支援による生徒の状態変化

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数(人)	50	56	88	102	104	126	130	136	140	152	157	163
平均値	0.58	0.88	0.80	0.86	1.17	1.29	1.44	1.63	1.83	1.78	1.87	2.12

※人数：メンタルサポーターがその月に支援した実数。

※平均値：前月と比較した生徒の状態をメンタルサポーターの見立てで「好転(+1)」「退転(-1)」「維持(±0)」で数値化した値の平均



5 成果と課題

- メンタルサポーターの支援活動は、担任や不登校担当教員とは異なる立場からのアプローチであるため、不登校生徒にとっての心の拠り所となっている。そのため、メンタルサポーターは、学校組織になくはならない存在となっている
- 各学校のメンタルサポーターだけで解決が難しい問題については、学校内での組織対応、メンタルサポーター同士の情報共有、教育相談センターとの連携によって解決を図ることができた
- 中学校の別室運営については、不登校傾向のある生徒だけでなく、学校不適応を起こしている生徒の心の安定の場として環境を整えている。常時学校に勤務するメンタルサポーターが中心となって、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と当該生徒のための情報交換を行い、生徒に適した支援をすることができた。しかしながら、別室利用生徒の増加に伴い、別室に入りづらくなる生徒が出てきたり、活動スペースが手狭になったりと、対応に苦慮している学校もある

*令和2年度は、4月5月の長期休業期間中を含む